

## APEC貿易投資委員会議長宛書簡【仮訳】

2012年5月24日  
APEC 貿易投資委員会議長  
メキシコ経済省 多国間通商交渉局副局長  
Monica Contreras 様

拝啓

APEC 域内のビジネス環境の中で、税関手続きの透明性の問題が大きな障壁になっていることは何度も指摘されてきました。規制上の要件、適用関税率、市場アクセス、原産地規則、そして 45 を超える地域間・二国間・多国間の貿易協定の詳細情報を簡単に入手できないため、企業が域内の貿易自由化のメリットを十分に享受することは困難な状況にあります。特に中小零細企業（SMME）は、貿易の恩恵を得ることを最初から断念することが多く、大手企業に比べさらに不利な状況に追い込まれています。この透明性の欠如は、貿易と投資の著しい障壁となり、また、域内の物品とサービスの自由な流れに向けた APEC の努力を損なうものでもあります。

ABAC が 2011 年に中小企業大臣宛に発出した書簡に記したとおり、「自由貿易協定（FTA）の活用方法についての理解を向上させることで SMME はより容易に特惠関税率と他の FTA の恩恵を活用できるようになる。FTA をより容易に活用できるようにすることで、SMME が他の国・地域でビジネスを行う上での費用総額が低減し、競争力が高まる。」この貿易障壁に対処するため、APEC は重要な貿易情報をシングルウィンドウ化し、使い勝手の良い形で提供する複数のイニシアティブを推進しています。

ABAC は、税関手続きの透明性を改善するための APEC の活動を高く評価するとともに、APEC 官僚の皆様には開発中の二つのデータベースを支援するよう呼びかけます。二つとは、現在サービスグループ（GOS）で検討中の APEC サービス貿易要件（STAR）データベースと市場アクセスグループ（MAG）で検討中の次世代関税データベースです。いずれも税関手続きを透明化し、分散している情報を一つのデータベースに集約し、使い勝手の良いインターフェースを用意することで、経営資源の限られた企業でも複雑な国際貿易ルールを理解できるようにするものであり、ビジネス、特に SMME の取引を促進するものとなります。

**STAR データベース**は、ビジネスに向けたオンラインツールで、APEC 域内のサービス提供者が新規の輸出チャンスを獲得できるよう支援するものです。サービス市場アクセスに関する情報を、単一のアクセスが容易なナレッジバンクに集約した STAR データベースは、ビジネス界の貿易の規制要件に対する理解深化に寄与します。

**次世代相関関税データベース**は、APEC 域内の輸出入業者が必要とする、域内の物品取引に関する現在及び将来の関税情報を一元化したものです。同データベースから、商業上必要な関税及び特惠条件の最新情報がタイムリーに得られるようになります。このデータベースがあれば、企業は計画立案や調達先比較等に必要な情報を入手することが可能になります。

この二つのデータベースは試験段階で機能性の確認とコンテンツの改善を実施しています。いずれも APEC 域内の関税情報を提供するものとしては過去にないレベルのものであり、世界貿易機関（WTO）、世界税関機構（WCO）、経済協力開発機構（OECD）、米州開発銀行（IADB）などの既存のデータベースを上回る内容となっています。

ABAC は、APEC がこれらデータベースの開発を支援し、また GOS、MAG、ABAC 間の協力を強化することで一貫性を強化し、協調できる分野を特定し、両データベースが商業的に意義あるものとなるよう進めることを要請します。

2012年ABAC議長  
Ziyavudin Magomedov